

令和5年度 羽咋小 校長室だより



ハマナス

11月 晩秋の秋！充実号 R5. 11. 27 No. 14



ホールに響いた、地球星歌！感動の合唱！



11月17日（金）に、羽咋市小中合同音楽会が開催されました。今年度は久々に、保護者の視聴も可能となり、ホール2階席には多くの皆様がお越しになりました。また、中学校の吹奏楽部による演奏も復活し、従来のプログラムでの開催となりました。

各学校の合唱では、それぞれの学校規模に応じた人数編成で、のびやかに、心を一つにして歌う姿が、とてもよかったです。どの学校も、練習を積み重ねてきたことがよくわかる、そんな歌声と態度でした。そして、本校6年生による「地球星歌～笑顔のために～」は、まず壇上に並んだときの一人一人の表情がとても明るく、既に笑顔になっている子も見られ、これはすてきな合唱になるという予感がしてきました。歌い出すと、歌詞がクリアに届き、表情も柔和で、心地よい歌声がホールに響き渡りました。これまでの合唱の中で、この歌の世界が一番伝わってくる、そんな全員の一体感を感じました。



最前列で見守る、台湾からの留学生！

続いて、中学校の合唱と吹奏楽部の演奏が披露され、最後に、「羽咋市歌」を全員で斉唱し、今回の音楽会は幕を閉じました。あっという間の1時間半で、それだけ中身が充実していたのだと感じました。

1ヶ月間、よく頑張った6年生。最高の歌声と感動をありがとう！



言葉を大事に、思いを込めて！英語や手話も取り入れ、地球全体に発信！



健やかサミット！楽しい生活について考える！



11月22日（水）の5限に、保健委員会による健やかサミットが行われました。今回は、先だって実施したピアサポートについて、全校から寄せられた声を中心に「楽しい生活を送るために、どうすればいいのか」について、考えていきました。

はじめに、ピアサポートに寄せられた悩みや相談を紹介し、そのベストアンサーが発表されました。「算数が苦手です。どうすればいいですか？」「好き嫌いが多くて、給食が苦手です。どうすればいいですか？」「友達とけんかしてしまいます。どうやって仲直りすればいいですか？」などの悩みに、「アクティブノートで復習しよう」「嫌いなものから先に食べるといいです」「すぐにあやまればいいです」などのベストアンサーが紹介されていきました。

次に、クロスワードパズルに挑戦しました。楽しい毎日を送るためには、心も体も健康であることが一番ということで、あてはまる言葉を書き入れていきました。みんな上手に書いていて、友達と確認し合っていました。特に、「だいじょうぶ」「ごめんね」「ありがとう」という言葉は、心を温かくするもので大切にしたいですね。



進行する保健委員会！

最後に、校長先生のお話では、校長室便りに掲載したピアサポートについての記事を紹介しました。「全校児童が、仲間の悩みや困り事に寄り添い、互いに解決方法を考えていくピアサポート。これをもってすべてが解決するわけではありませんが、こうして自他を大切にしていって心を育むことは、安心して学校生活を送ることにつながると考えます。全校集会でも、『鍛え合う＝頑張る仲間を応援する』と伝えました。羽咋っ子が、自分もみんなも幸せになれる、そんな温かで強い心をもった人間に成長していくことを願っています。」の部分を読み上げました。今回、この企画の準備・進行に頑張った保健委員会の皆さん、全校のみんなが自分事として真剣に考え、話し合うことができたすてきな会をありがとうございました。



放送を真剣に視聴！



ペアで答えの確認！



振り返りを書く！



学級を取組を話し合う！



思いをしっかり伝える！



思いを受け止める！



ようこそ、羽咋小へ！年長さんとの交流会！



11月21日（火）と24日（金）の2日間に分けて、来年度本校に入学予定の年長児と1年生との交流会を行いました。これは毎年恒例の行事で、秋のこの時期に1年生が学習の様子を公開し、その後、秋のお店屋さんを開いて年長児に楽しんでもらうという企画です。

授業参観では、1年生がピンと手を伸ばし、元気よく発言する姿や、タブレットを自由に使いこなす姿、生き物になりきって体を動かす姿などを参観し、興味深そうに見つめていました。続いて、絵本の読み聞かせも行いました。図書館司書が電子図書を活用して、2つのお話を紹介しました。年長児は、絵本が映し出されたモニターテレビを食い入るように見つめ、お話の世界に浸っていました。

そして、お楽しみのお店屋さん。各学級で工夫を凝らした秋のお店が並びました。的当て、魚釣り、くじ引き、レストラン、お面・アクセサリーなど、どんぐりや松ぼっくりといった秋の素材を生かした楽しいお店で、年長児はパスポートを確認しながら遊びを楽しんでいました。店員役の1年生は、遊び方の説明やサポート、景品のプレゼントまで、年長さんを思いやり、親切に対応していました。さすが、先輩です。

最後に、来年の入学を楽しみに待っているというメッセージとともに、プレゼントを手渡し、玄関前までお見送りしました。互いに笑顔で、名残惜しそうに手を振る姿に、今回の交流会の充実ぶりがうかがえました。

1年生の成長ぶりがひしひしと感じられた、すてきな交流会になりました。

年長さんとの交流会ダイジェスト！ Part 1！



タブレット操作に釘付け！



やる気マンマン！



良い姿勢で聞き入る！



司会進行！



始めの言葉！



秋のレストラン！



すてきな秋のアクセサリ！



ペットボトルボーリング！



わくわく輪投げ！



松ぼっくり的当て！



手作り楽器で演奏会！



どんぐりごま対決！



秋の素材で魚釣り！



松ぼっくりのけん玉！



プレゼント渡し！



「ありがとう」「どういたしまして」



玄関までお見送り！



「バイバイ！また来てね！」

年長さんとの交流会ダイジェスト！ Part 2！



勉強の様子を参観！



体育は表現運動！



読み聞かせは良い姿勢で！



始めの言葉！



UFO キャッチャー！



松ぼっくりでの的当て！



わくわく魚釣り！



どんぐりごま対決！



どんぐりころころ！



当たりかな？ドキドキ！



めざせホールインワン！



カラフルなお面！



ふしせんと渡し！



終わりの言葉！



トンネルでお見送り！



「全ては自分次第」！いつまでも向上心を！



11月24日（金）の5限に、東大セミナーによる講演が行われました。今回の講師は、ツエーゲン金沢のクラブアンバサダーである辻尾真二さんで、自身もJリーガーとしてプレーされた経験をお持ちです。

演題は「全ては自分次第」で、プロサッカー選手の魅力や1日の生活、成功の秘訣などについて、お話がありました。中でも、プロとして成功する選手には「向上心、野心を持続できる」「自信と謙虚さ、傾聴力がある」「自分を客観視できる」などの特徴があること

が伝えられ、併せて切磋琢磨できる環境が大事であることも述べられました。厳しいプロの世界で活躍してきただけあって、一言一言に重みがあり、児童は熱心にメモをとって傾聴していました。質問コーナーでも、体の鍛え方や向上心のもち方など、講演内容を踏まえたたくさんの質問があり、辻尾氏は丁寧に答えていました。

少年の頃から一貫して夢を追い続け、実現させたお話は、児童にとって心の栄養になったと感じました。すてきな講演を、ありがとうございました。



質問に丁寧に答える辻尾氏！



障がい者スポーツ体験&車いす体験！



11月8日（水）の3・4限目に、4年生が総合的な学習の時間に、福祉についての学習を行いました。今回も羽咋市社会福祉協議会とボランティアの皆様にご協力いただき、「出前！ちびっ子ボランティアスクール in 羽咋小学校」の事業として開催していただきました。

はじめに、身体障がいについての基本なお話があり、その中で「バリアフリーとは、壁をなくすこと」「ユニバーサルデザインとは、最初から壁がないこと」という違いを理解することが出来ました。

次に、障がい者スポーツ体験と生活用車いす体験を行いました。スポーツ体験では、ボッチャとフライングディスクに挑戦し、車いす体験ではペアで乗る役と操作する役に分かれて感触を体験しました。やはり実際に体験することで、障がい者への理解も深まってくると感じました。

社会福祉協議会とボランティアの皆様、貴重な体験の場をありがとうございました。



輪の中をわらって、GO！



より近く！より正確に！



丁寧に車いすを操作！



万一の場合に備え、引き渡し訓練！



11月10日（金）に、児童の引き渡し訓練を行いました。今回は、震度6の地震が発生し、その後、通常の下校は困難との想定で、児童の安全確保のために保護者への引き渡しを決定したとの想定で、実施しました。

午後1時50分、非常サイレンが鳴り響き、教頭先生から「訓練、訓練。地震です。あ

わてないで揺れが収まるまで、それぞれの場所で安全行動をとりなさい。教室にいる人は机の下に入りなさい。」との放送が入りました。全校一斉に安全行動を行い、揺れの収まりとともに、体育館に避難しました。どの学年も真剣な様子で、素早く集合することができました。その後、地震発生から体育館避難までの様子について講評を行い、安全な下校のために保護者への引き渡しを行うことを伝え、訓練を継続しました。



保護者に確実に引き渡し！

学校からのメール配信後、続々と保護者の皆様が来校し、受付を済ませると、各教室で待つ児童を迎えに行きました。教室前廊下では、担任が引き渡しカードを確認し、児童にも保護者かどうか再確認を行って、確実に児童を引き渡していました。訓練とは言え、お迎えが来たとわかると児童はほっとした表情で、教室を後にしていました。

最後に、都合でお迎えに参加できなかった保護者の児童は集団下校の措置をとり、教職員が担当箇所に分かれて、引率し下校しました。年に1回の訓練でしたが、大きな混乱はなく、無事児童を引き渡すことができました。保護者の皆様、ご理解・ご協力をありがとうございました。



地震発生！素早く安全行動！



引き渡しの受付！



姉妹そろって下校！



雨の中、続々と訪れる迎えの車！



集団下校の最終確認！



列を守って下校開始！



笑顔の花が満開！縦割り遊びで深まる絆！



11月22日（水）の2限に、縦割り遊びを行いました。この日は好天に恵まれ、汗ばむ陽気の中、縦割り班ごとに思い思いの遊びで楽しみました。鬼ごっこ、だるまさんが転んだ、ドッジボールなど、校舎内外に歓声が響き渡り、笑顔で遊ぶ姿があふれました。6年生がリーダーシップを発揮し、最後の振り返りタイムまで、あっという間に45分間が

終了しました。「校長先生、今度は2時間にして!」「仲よく遊べたよ!」などの声がたくさん届きました。晩秋の一時、みんなで絆づくりができてよかったです。



多目的室で、だるまさん!



レインボー広場で、だるまさん!



ベランダで、鬼ごっこ!



中庭で、鬼ごっこ!



中庭で、鬼ごっこ!



体育館で、ドッジボール!



運動場で、花いちもんめ!



運動場で、だるまさん!



最後にみんなで振り返り!



編集後記「夢中になって取り組む!」～子どもの姿に学ぶ～

今回の記事の中で取り上げた「年長さんとの交流会」と「縦割り遊び」には、共通点があると気付きました。それは、どちらも目的意識・相手意識がしっかりあって、夢中になって楽しんでいるということです。私達大人も子どもの頃、夢中になって遊んだり、本を読んだり、スポーツに打ち込んだり、何かを作ったりなどした経験があるはず。その時は、まさに夢心地で、時の経つのも忘れて没頭し、心地よい疲れと共に充実感や達成感を得たものです。

日々の学習・生活においても、そんな出会いがあれば、自分磨きができるはず。その意味でも、私達教師は学校生活の大部分を占める授業において、子どもが目を輝かせ、夢中になって取り組むことができる学びを創造したいものです。一工夫、一手間を心がけ、共に夢心地で楽しむことができる、そんなプロの仕事人でありたいと教職38年目の今も、そう思います。子どもから学び、刺激を受けて、明日からまたスタートです。